

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：大阪府済生会富田林病院（大阪府）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
大阪府	南河内	大阪府済生会 富田林病院 (病院施設番号:030927)		大阪府	三島	削除	大阪府済生会茨木病院 (病院施設番号:031746)		大阪府	南河内		とねクリニック (病院施設番号:)		大阪府済生会富田林病院臨床研修プログラム	2
				大阪府	南河内		大阪さやま病院 (病院施設番号:031764)		北海道	後志		小樽病院みどりの里 (病院施設番号:157796)			
							(病院施設番号:)		北海道	後志		済生会小樽病院 (病院施設番号:100011)			
							(病院施設番号:)		鹿児島	奄美		大島郡医師会病院 (病院施設番号:032250)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

北海道済生会小樽病院と小樽病院みどりの里での研修は、へき地、医師不足地域における地域医療・地域保健について学ぶことを目的に連携を行っている。今回、開設者が同じである済生会小樽病院の両方で研修を実施することで後志医療圏の現状を医療・介護・福祉・保健などの幅広い視点をもって、より深く学ぶことができると考えている。また、研修医同士だけではなく、指導医らの情報交換の場としても活用して連携を図っていることから、臨床研修においてもお互いに連携を行っている。
済生会では本部が中心になって「済生会初期臨床研修医交流事業」を推進している。法人全体で連携を行うことにより、済生会内の人材交流・人材育成をより一層推進することを目的としている。
また、大島郡医師会病院とは、へき地医療、特に離島医療について学ぶことができることから連携を行っている。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。